

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.05.No261

5月号

## 目次

全国大会「北海道大会」特集	1
まちづくり会議報告	5
青年・女性の窓	6
[No.91 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## いよいよ函館で全国大会「北海道大会」開催

大会実行委員会 副委員長 山田良彦 (函館支部)



リクロス

## Re+ 明日のまちに輝きを――

会員皆様の元に「建築士4月号」第62回建築士会全国大会「北海道大会」へのいざない特集号が届いたと思います。また、毎年の全国大会の様子は、翌年2月号に報告特集で詳しく載っていますので、そちらも見ながらこの記事をごらんになって頂ければと思います。

函館アリーナ▶



### 9月20日(金)

#### プログラム

	時間	会場
① 記者会見	13:30~14:30	花びしホテル(2F) ライラック
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~17:00	花びしホテル(2F) 芙蓉
③ 全国建築士フォーラム	16:00~21:00	ホテル函館ロイヤル(3F) ロイヤルホール
④ 歴史的建造物見学会 (全国HMN協議会総会参加者対象)	14:00~16:30	函館市内
⑤ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク 協議会総会	17:00~21:00	金森ホール

### ■9月20日(金)

大会の前日になりますが、19日から函館入りしている実行委員会および大会スタッフが中心になり準備作業を開始します。会場のアリーナでは、朝から委託業者による会場設営作業が行われます。午後からは、実行委員および大会スタッフにより別室で当日参加者へ渡す資料の「袋詰め」作業(約3000個)を行います。

別会場の花びしホテルでは連合会会長による「記者会見」をはじめ関連行事として「連合会理事・士会長合同会議」が開催されます。

ホテル函館ロイヤルでは、青年委員会主催の「全国建築士フォーラム」が、金森ホールでは非会員の方々も参加する「全国ヘリテージマネージメントネットワーク協議会総会」が歴史的建物見学会と併せ開催されます。それぞれが懇親会もセットとなっており、参加案内や登録は別途手続きとなっておりますが、それぞれ年一度の交流会であり楽しい前夜祭となることでしょう。

### ■9月21日(土)

大会当日の午前には、函館アリーナと花びしホテルを会場にセッション(分科会)が行われます。建築士4月号第62回建築士会全国大会「北海道大会」へのいざない特集号の「参加希望申込書」により参加登録された各セッションの当日資料(手提げ袋)を受け取りください。連合会の各委員会が担当する8セッションが用意されていますので、関心があるセッションに参加登録をしていただければと思います。

参加者が楽しみにしている昼食については、事前申し込みで用意している弁当(北海道らしさの素材に拘った「みかど弁当」と、屋外(ともえ広場)でテントを張り「屋台村」が用意されています。各種キッチンカーや地元食材を使った料理などを提供します。

北海道の秋、青空の下で気持ち良く、あずましく、アルコールもちょっぴり嗜み、楽しく過ごして頂きます。

## 9月21日(土)

プログラム	時間	会場
⑥ 総合受付	9:00~17:30	函館アリーナ(1F) ホール
⑦ 青年委員会セッション (地域実践活動発表会)	9:30~12:30	函館アリーナ(1F) 武道館A
⑧ 女性委員会セッション	10:00~12:00	函館アリーナ(1F) スタジオB
⑨ 景観・街中(空き家)まちづくりセッション	10:00~12:00	函館アリーナ(1F) 武道館C
⑩ 福祉まちづくりセッション	10:00~12:00	函館アリーナ(1F) 多目的会議室B
⑪ 防災まちづくりセッション	10:00~12:00	函館アリーナ(1F) スタジオA
⑫ 環境部会セッション	10:00~12:00	函館アリーナ(1F) 多目的会議室A
⑬ 情報部会セッション	10:00~12:00	函館アリーナ(2F) ホール
⑭ 歴史まちづくりセッション/ 第7回ヘリテージマネージャー大会	10:00~12:00	花びしホテル(2F) 芙蓉の間
⑮ 記念講演	13:00~14:30	函館アリーナ(1F) メインアリーナ
⑯ 大会式典	15:00~17:00	函館アリーナ(1F) メインアリーナ
⑰ 大交流会	17:30~19:15	函館アリーナ(2F) サブアリーナ
⑱ 函館夜景バスツアー (アリーナ発貸切バス)	20:00~22:00	函館山展望台
⑲ 記念展示 (作品賞等パネル展示)	10:00~15:00	函館アリーナ(2F) ホール
⑳ 企業出展ブース	10:00~17:00	函館アリーナ(1F) メインアリーナ回廊
㉑ 北海道物産コーナー	10:00~15:00	函館アリーナ(1F) ホール
㉒ 昼食 (事前申込~弁当配布)	11:00~13:00	函館アリーナ(2F) ホール
昼食 (当日販売~屋台村)	11:00~14:00	函館アリーナ(屋外) ともえ広場

午後のメインアリーナでは海外でも活躍している北海道出身の建築家、藤本壮介氏の「記念講演会」と、引き続き「大会式典」が開かれます。

大会式典のオープニングは、江差追分の唄と踊りです。北海道といえば江差追分、日本遺産認定を受けた江差町から第25回江差追分全国大会優勝者の菊地勲氏(上席師匠)が出演します。菊地氏は昨年8月5日に札幌で開催された「北海道150年記念式典」で天皇皇后両陛下の御前で唄われた江差追分の第一人者です。静寂の中で聴く江差追分は、厳しい環境の中、北海道開拓を担った先人達を偲び、きっと、全国からの参加者の胸を打つことでしょう。

夕刻には、2階サブアリーナで「大交流会」が行われます。趣旨は、文字のごとく懇親会ではなく、大交流会です。年一度、再会を楽しみに集いあう建築士仲間との名刺交換、交流の場です。

また、その土地ならではの食の楽しみの場でもあります。今回の大会で、実行委員会として、一番拘ったのが北海道らしさ、地元らしさの料理内容でした。

最近の傾向として、ホテル会場が多いせいも、あまり印象に残るような料理が少ないのが一寸物足りなかつたようです。そこで今回は、会場の火気使用制限がある中、テーブル料理はホテルから持ち込み、その他の地元料理(B級グルメもあり)は会場(屋外)で調理をして提供することにしました。

さらに、今回は毎年、全道大会で恒例の各支部・地域から提供していただいている北海道の地酒、ワイン、チーズ、珍味などを各テーブルに用意、全国からの参加者に飲・食で「北海道らしさ」を味わってもらおうと考えています。

■全国からの参加者は当然、その土地の歓楽街での二次会を楽しみにしていますが、今回は、函館山からの夜景(「世界三大夜景」と呼ばれていました。)を満喫してもらおうと貸し切りバスによる「函館夜景バスツアー」を企画しています。せっかく函館に来た以上は函館夜景を楽しんでいただきたいと思えます。(旅行日程や天候などにより、残念ながら観られないことがあります。)また、函館山からの帰りは宿泊施設のある函館駅前、五稜郭・本町、湯の川温泉を経由し、それぞれの付近で降車できるよう配慮しています。



北海道大会PRブース (2018年埼玉大会)

## ■ 9月22日(日)

地域交流見学会エクスカーションでは、5コースを用意しています。

- ・ **Aコース** 歴史的建造物街並み見学は、徒歩2km、3時間で函館らしさを感じてもらう函館観光の目玉コースの歴史的建築物を案内します。1班15人ごとに観光ガイド（観光ボランティアガイド「一會の会」の会員）が案内します。
- ・ **Bコース** 函館の重要文化財見学は、函館駅から貸切バスで五稜郭タワーと箱館奉行所（平成22年に復元）を經由、耐震改修工事中の遺愛学院と旧函館区公会堂などの重要文化財指定建築物を見てまわります。ガイドは建築士と現場担当者が行います。
- ・ **Cコース** 函館の近代建築見学は、徒歩2km、2.5時間で函館大火復興事業により形成された街並みと耐火建築物を見て歩きます。
- ・ **Dコース** 日本遺産「江差いにしえ街道」散策は、貸切バスで江差の街並みと江差追分全国大会の決勝戦の観覧もします。
- ・ **Eコース** 縄文遺跡とニセコ小樽の街並み見学は、世界遺産登録を目指している縄文文化に触れ、車内でかにめし弁当、全国で有名となったニセコ（酒造）、余市（ニッカウキスキー）、小樽運河（宝川）を見学、ほろ酔い気分札幌までご案内いたします。

■ 毎年開催されている全国大会に毎回参加できる会員は少ないと思います。当支部でも、函館開催が決まってから初めて参加した会員が多く、支部会員のなかでも20人程度です。やはり、地元北海道大会への参加は貴重な経験となります。13年に一度の滅多にないチャンス、日頃の活動とまた次元が違い、建築士あるいは建築士会というものを見直すことができます。

そして、全国大会に参加する会員・仲間との交流を図ることにより、自分自身も建築士会も変わるきっかけとなると思います。

実行委員会としては、北海道建築士会・会員として大会の大成功のため、会員一人ひとりが「おもてなし」の精神で全国各地から参加する会員を迎えたいと考えています。どうか皆様、この機会に一人でも多く全国大会に参加してください。

そして、「おもてなし」のお手伝いをよろしくお願いいたします。各支部を結集してご参加ください。

各支部からのご協力をお願いいたします。お待ちしております。



函館市内を走る路面電車

## 9月22日(日)

### 地域交流見学会（エクスカーション）

プログラム	コース名称	時間
1日コース	Aコース 函館の歴史的建造物街並み見学	9:00～12:00
	Bコース 函館の重要文化財見学	9:00～16:45
	Cコース 函館の近代建築見学	9:30～12:00
	Dコース 日本遺産「江差いにしえ街道」散策	8:30～17:20
	Eコース 縄文遺跡とニセコ・小樽の街並見学	8:00～18:00



函館山からの夜景



大会会場の函館アリーナ

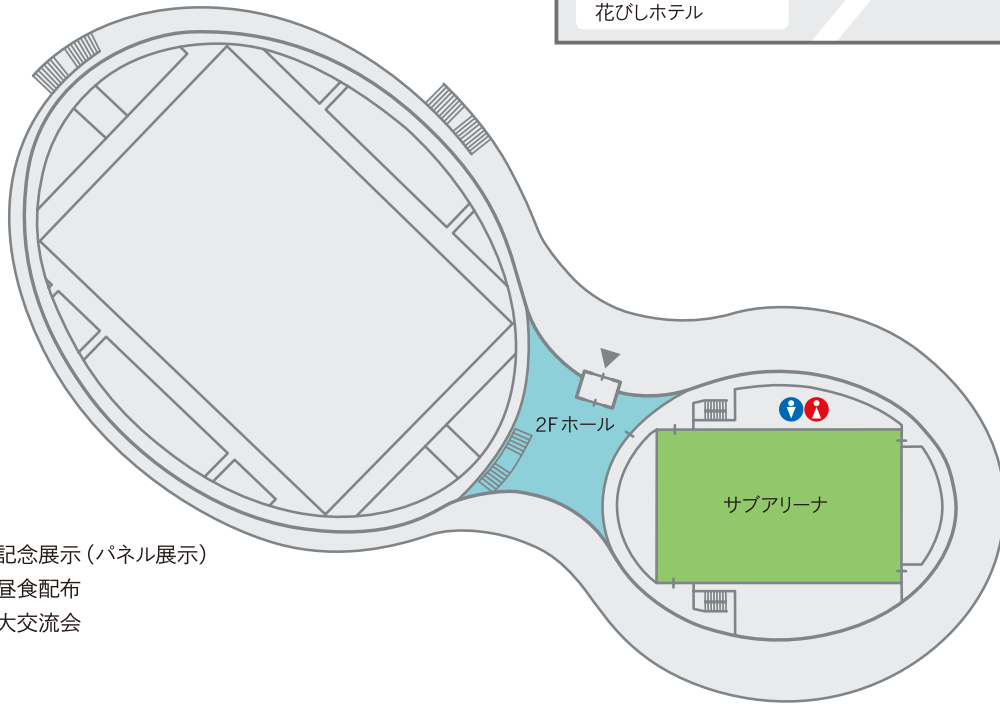
## 参加申込について

建築士会全国大会「北海道大会」参加申込書・詳細は、「建築士4月号」に掲載されています。所属支部事務局へ期日までに参加申込書をご提出ください。（期日は支部によって異なりますので所属支部へお問合せください。また、ホームページの方でも案内しておりますのでそちらもご覧ください。）



# フロアマップ

## 函館アリーナ会場案内図



### 2F

- 10:00～ 記念展示 (パネル展示)
- 11:00～ 昼食配布
- 17:30～ 大交流会



### 1F

- 9:00～ 総合受付 (受付・クローク)
- 10:00～ 企業出展ブース
- 10:00～ 会場行事 (セッション等)
- 10:00～ 北海道物産コーナー
- 11:00～ 屋台村 (昼食)
- 13:00～ 記念講演
- 15:00～ 大会式典
- 来賓控室
- 大会運営事務局

# 道士会まちづくり会議

## 胆振東部地震から考える ～建築士・建築士会ができること～



常務理事・まちづくり委員長 針ヶ谷 拓 己 (札幌支部)

「胆振東部地震」を経験し、改めて様々な教訓や反省点が浮き彫りになったのではないのでしょうか？

3月16日に開催された、道士会まちづくり会議は、「胆振東部地震」をメインテーマとし、この度の震災について議論をする場とさせていただきました。

### 胆振東部地震についての講演

#### 「防災から考えるまちづくり戦略」

(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

北方建築総合研究所地域研究部部长 松村 博文 氏

人口増加により市街地は拡大してきたが、人口減少時代に入り、市街地のコンパクト化が求められている。一方、近年の防災技術向上から被害想定ができ、防災計画が策定されるが、豪雨や胆振東部地震などで甚大な被害を受け、防災対策だけでは限界が見られている。そのような背景の中、震災を受けたむかわ町では中心市街地の店舗併用住宅が軒並み被害を受けた反面、商店街が抱える空き店舗等の問題がある意味クリアランスされることとなった。今後は、町外からの移住を見据え中心市街地に住居系建物を建てる施策をベースに、商業エリアを一つに集約し、コンパクト化した市街地再編や事前復興まちづくりを実現させるべく、持続可能な地域運営を目指し、まちづくり計画が進められているという、興味深いお話を伺いました。

#### 「胆振東部地震に係る応急仮設住宅の整備」

北海道建設部住宅局住宅課主幹 奈良 華織 氏

胆振東部地震では最大震度7を観測し、全壊462棟、半壊1,570棟の被害を受け、厚真町・むかわ町・安平町で応急仮設住宅が建てられた。被災直後から速やかな建設ができるよう準備が進められたが、被災地の悲しみの中、仮設住宅の話をするのが難しい場面もあるなど、必要戸数がすぐに確定できないことから仮設建設は2期に分けて行われた。

1期目は9月21日～10月31日、2期目は10月25日～11月28日の期間に工事が行われ、208戸建設された。なお、戸当たりの建設費用は、寒冷地仕様であることや小規模団地が多く、本州に比べ1.25倍程度になっている。また、1住戸の規模は、20㎡・30㎡・40㎡のバリエーションとし、寒冷地対策として風除室やFFストーブや給湯器の設置、断熱強化、窓は二重サッシとし断熱ドアを設置しているが、住民アンケートでは「寒い」「狭い」との回答が多かった。その他、仮設住宅が割り当てられているのに壊れそうな自宅に残る方がいるなど、きめ細かな対応が必

要なことや、福祉仮設が全国で初めて建設され、過去に事例がなく苦勞されたお話しなどを伺いました。

### パネルディスカッション

「震災による問題点や課題。そして建築士や建築士会に求められること」をテーマとし、

- ① 震災で、建築士・建築士会として何をしました？
- ② 震災を経験して浮き彫りになった課題は？
- ③ 建築士・建築士会に何が求められている？

というお題について、パネリストのみなさんからお話を伺いました。行政から建築士会に求められているものでは、「復旧段階での相談業務に関わってほしい」「建築士は人や暮らしを扱う視野が広いのでまちづくりの担い手になってほしい」「防災教育に関わってほしい」「空き家の問題に関わってほしい」などの意見が挙がっていました。また、厚真町にお住まいの参加者からは、「罹災証明における診断を建築士会へ依頼すべき」との意見もありました。

#### 〈パネリスト〉

北方建築総合研究所 地域研究部

北海道建設部住宅局住宅課

被災地応急支援委員会

ヘリテージマネージャー特別委員会

女性委員会担当

松村部長

奈良主幹

小町委員長

関川委員長

本間常務理事

#### 〈コーディネーター〉

まちづくり委員会

針ヶ谷委員長



パネルディスカッションの様子

### グループ討議

「建築士・建築士会ができることは何か？」をテーマに、防災／歴史／景観・街中（空き家）／福祉の4テーブルに分かれ、

- ① これまでに挙げられた問題や課題、要望を、どう解決する？
- ② 建築士・建築士会ができることは何か？

をお題に、パネルディスカッションのパネリストを参加者が囲み、盛り上がりのあるグループ討議が行われました。



“これから働く学生のための座談会”に参加して

鈴木 彩恵 (札幌支部)

昨年12月に、コンクリート工学会北海道支部若手会の主催する“建築業界で活躍する女性技術者とこれから働く学生のための座談会”に、パネラーとして参加しました。企画立案は若手会の女性で構成された“建設どさん娘の会”によるものでした。

北海学園大学工学部の教室内で開催され、参加者はパネラー5名と、室蘭工業大学・北海学園大学の建築学科・土木学科の女子学生19名。他、サポート会員や新聞社など多数の方々がいらっしゃいました。建築士会からの参加は、札幌支部女性委員長の新海さんと私の2名でした。

内容は、パネラー各自の10分間自己紹介から、5～6名の班に分かれてグループトークという流れでした。私以外のパネラーの自己紹介が素晴らしすぎて、すっかりうなだれてしまいました。学生さんとの座談会は大変楽しく過ごさせていただきました。

就職活動が始まる前の企画との事で、3年生・2年生と大学院1年生の参加でした。1班あたり20分程度の時間では、十分に話を引き出す事が出来ずに終わってしまった感じがしました。お互いに、初対面での活発な話し合いはなかなか難しいので、もっと学生さんの興味を探ろうと必死になってみましたが、短時間ではなかなかうまくいかなかったように思います。

それでも少しずつ身体がほぐれてくると、「興味がある事で仕事をするには、どういう会社で働くのが良いのか？」などの質問がありました。今は、個人の働き方も企業も、私の学生の頃に比べるとだいぶ多様化しているので、選択肢が多いように思います。いろいろな人と話す機会があると、だんだんモヤモヤが晴れてくるはずなので、少しでもお役に立てると良いな…と、思いました。

今回、声をかけてくださった“建設どさん娘の会”の皆様には、大変感謝しております。次は、こちらからお誘いできるような楽しい企画を考えたいです。

住教育出張講座  
「インテリア編」

後藤 朋恵 (札幌支部)

住教育出張講座「インテリア編」を2月26日に南幌高校2年生11名を対象に開催しました。

前年の10月に間取り図を制作し、自身の制作図をさらにインテリアコーディネートして、プレゼンボードを作り発表するという、難易度の高い出張講座です。建築士会から講師3名で対応しました。

一昨年は女子高での開催でしたが、今回は生徒11名中男子が9名でしたので、興味を持ってくれるのか多少不安な気持ちで臨みましたが、実際プランボード制作にかかると積極的に自分のイメージを雑誌から見つけ、クロス・床材・カーテン・家具を着々とセレクトし、用意した商材と一緒に探し、楽しく集中している様子で、あっという間の3時間授業でした。

最後の発表までには、インテリアボードも完成して自分なりのこだわり、どんなテイストが好きかを発表してもらいました。中には、グリーンアイテムを多用した、完成度の高い作品があり、先生に何うと、建築士志望の生徒とのことでした。また、生徒達は10月に間取りを制作したことで住まいに関心を持つ事が出来、今回のインテリアボード制作も積極的に取り組めたというお話でした。

普段の生活では触れる事が少ない商材に実際に触れて、自分の部屋のイメージを表すという講座を授業で開催させていただき、高校側のご協力に感謝します。



参加者にて記念撮影



商材を選んで、インテリアプレゼンボードを作る様子



## 上富良野支部 支部活動と地域の良さを発信！活動は地道にコツコツと

事務局長  
高松 徹



2013年4月に当支部の活動発信ツールとしてブログを開設し、これまで6年間、投稿を続けてきました。その活動は観光道路への花植え、まちなかのイルミネーション設置や多くの町民が参加する建築士の日ビールパーティ開催など、内容はあまり変わりませんが、長く続けてきています。そして、活動の度に発信してきたブログの閲覧回数は約1,900回と、多くの方に観ていただいているようで感

謝いたします。

会員数は45名と少ない支部ですが、あまり会員の負担にならず、それでいて対外的にアピールできるような活動をこれからもコツコツと続けていきたいと思えます。

さて、みなさんは“ロケツーリズム”という言葉をご存知でしょうか？映画やドラマなどのロケ地として、役者やタレントが訪れた店や撮影場所などを巡ること（いわゆる聖地巡礼）を観光資源化してアピールするものです。

実は先日、当支部がある上富良野町もこれまでに30回近く（題材はラベンダー、温泉、十勝岳や豚

サガリなど様々）“ロケ地”になっていることを知りました。この取り組みはロケの誘致よりも、ロケ後にどういう形で発信していくかが重要なポイントとなるそうです。

私たちの地域には田園や山岳景観、食文化など広く知ってほしい資源がたくさんあります。これらは、建築士会のネットワークを使って全道を超え全国の仲間へ発信することも可能だと思います。これからは支部のアピールは勿論、地域の良さも発信できたら～と思いながら活動を進めていきます。

## 北見支部 建築士会の思い

事務局長  
平塚 純一



建築士会に入会して11年が経ち、入会当時は青年部の一員として様々な活動に参加し、最後は副青年部長まで務めました。2年前に支部の事務局長に任命され本職の仕事しながらの仕事なのでとても大変です。支部長や各役員の方のおかげで様々な支部活動を行うことができとても感謝しているところです。毎年開催している建築士の日ビールパーティーもチケットの準備から当日の段取りまでとても大変でしたが、終

わった時の達成感がなんとも言えなかったです。我々建築士が市民の方に少しでも建築士会の活動を知ってもらう場と思っています。また、その他の事業として小学生以下を対象に市内にある建物を題材とした「こども絵画コンクール」を開催しています。昨年は準備に時間がかかり募集期間がとても短くなってしまったので展示会自体の開催も断念しなければいけないと考えましたが、展示会のギリギリまで募集期間を延ばした甲斐もあり、思った以上の作品数が集まり開催をすることができました。少しでも子供たちが建物に興味を持っていただき未来の建築士を目

指すきっかけになればと思います。これからも建築士会の活動が市民のみなさんに知ってもらえるような支部活動を積極的に発案・実行していけるように頑張りたいと思います。



「こども絵画コンクール」の様子

## 東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介

### 第一工業株式会社

(北見市南町)

代表取締役  
神成 英樹



弊社は、昭和34年にコンクリートブロックの製造販売及び施工店として創業いたしました。昭和47年頃より防水工事の施工を開始し、以後長年に渡り、オホーツク管内及び釧路・根室管内を拠点に防水工事中心の専門工事業者として、多くの皆様にお世話になっております。

時には同業他社の方々や材料メーカー、販売店様のお世話になる等、本当に多くの皆様に支えられて今日まで歩んでくることが出来ました。『ご縁』を大切にしながら社員一丸となり、東西アスファルト事業協同組合の一員として防水工事の仕事を通し、社会に貢献出来る企業であるために精進して参ります。

今後とも、皆様方の変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

TEL : 0157 - 23 - 4155

### 東興アイテック株式会社

(函館市西桔梗町)

代表取締役社長  
朝倉 友和



弊社は昭和47年に東興アスファルト工業(株)函館営業所として創業、(株)東京興業貿易商会との合併を経て、平成2年に社名を東興アイテック(株)として独立しました。営業所を札幌、苫小牧、仙台に開設し現在に至ります。

創業当時は防水工事業を中心としておりましたが、近年では外壁改修工事や耐震改修工事などにも着手。より多くのニーズにお応えするため、日々最新技術を積極的に取り入れ、施主のみならず設計事務所やゼネコンの良き相談相手になれる様、建物の「プロフェッショナル」として技術向上に努めてまいります。一級建築士1名、二級建築士1名、一級建築施工管理技士4名、二級建築施工管理技士5名、一級防水技能士8名 他

TEL : 0138 - 49 - 8571

## 胆振東部地震災害対策協力 北海道庁にて知事から感謝状贈呈



感謝状の贈呈式にて（高野会長 前列右より2人目）

3月28日に北海道庁本庁舎で北海道胆振東部地震の災害対策に協力した北海道建築士会他11団体（建築系6団体）への知事感謝状贈呈式が開かれました。当会からは、高野会長、石川専務理事が出席し、被災地における住宅相談への会員の派遣などに貢献したとして、知事に代わり平向建築企画監より感謝状が授与されました。

### 2019年（一社）北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広く紙面やホームページでアピールしてみませんか。今年の応募締切は下記のとおりです。多くの会員の応募お待ちしております！

**応募締切** 令和元年5月17日（金） 必着

**※応募要項等** 詳細については、本会HPをご覧ください。

### CPD認定プログラム（4月認定）

認定プログラムはありませんでした。

### 編集後記

「令和」最初の全国大会は北海道大会！

大会テーマ「Re+」は新たなスタートと共に今までの道程を確認する機会でもあります。平成に開催された2つの大会、旭川大会（H15）では、宇宙飛行士毛利衛さんの講演が未来を運び、台風一過の帯広大会（H19）では屋外の交流会という北海道ならではのおもてなしがありました。

さて、函館は…どんな感動があるのでしょうか。

5回目の北海道大会、私たちの手で成功させましょう。

情報委員会副委員長 早川 陽子

## 講習会のご案内

### 監理技術者講習

5月16日（木）札幌市・函館市 5月21日（火）千歳市

### 2019年度第1期建築士定期講習

6月5日（水）札幌市 6月18日（火）旭川市

6月26日（水）北斗市

### 「建築生産入門」講習会

5月23日（木）札幌市

### 既存住宅状況調査技術者のための「次世代住宅ポイント制度の解説と住宅リフォーム工事に関する講習会」

5月28日（火）札幌市 5月29日（水）北見市・北斗市

6月30日（木）旭川市・帯広市 5月31日（金）釧路市

### 既存住宅状況調査技術者講習

新規：6月12日（水）札幌市 6月13日（木）北斗市

6月14日（金）旭川市

移行：6月21日（金）札幌市

講習会のお申込み・詳細は（一社）北海道建築士会HPをご覧ください。

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（4月）

#### ◆第2回青年委員会

〈開催日〉4月13日（土）

〈議題〉1）全国大会（北海道大会）他

#### ◆第8回北海道建築士会ありかた検討会議

〈開催日〉4月23日（火）

〈議題〉1）「北海道建築士会の今後のあるべき姿」最終報告

#### ◆第2回総務委員会

〈開催日〉4月27日（土）

〈議題〉1）北海道建築士会ありかた検討会議中間報告について 他

### 道本部の主な行事予定（5月）

17日（金）第2回理事会

25日（土）第2回情報委員会

25日（土）まちづくり委員会WEB会議

### 関係機関等会議参加予定（5月）

13日（月）建築CPD運営委員会（東京）

23日（木）日本建築士会連合会正副会長会議

28日（火）日本建築士会連合会理事会

すべて高野会長出席

情報委員会委員長／斎藤 勝哉  
副委員長／早川 陽子・森 勝利・前田 繁  
委員／熊谷 智・柏倉 晶憲  
村山 賢司・片岡 哲二

### 北海道建築士 No.261号

印刷 平成31年4月／発行 令和元年5月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番